

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名

【 熊本県 】 小国町立小国小学校

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	生徒 217 名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (学校行事) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	(1) 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会への機運を高める。
5 取組内容	平成30年1月22日(月)に本校体育館にて、志土地翔大氏(女子レスリングコーチ:リオデジャネイロ大会)を迎え、講演及び実技指導を行った。 (1) 講演 講演では、レスリングのルール、レスリングの動き、リオデジャネイロ大会でのエピソード、オリンピックの3つの理念についてお話いただいた。詳細は以下の通りである。 レスリングは、1対1で戦うスポーツで、両肩をマットにつけたり、相手をタックルで倒したりすることで勝敗が決まる。スピード感と緊張感が見所である。 レスリングの動きとしては、まず必ず始めと終わりに握手をする。これは相手と戦えることに感謝し、敬意を示すために行う。次にレスリングの構えは、①足を開く、②自分の利き手・利き足を前に出す、③腰を落とす、の3つから成る。そして、タックルや寝技からのローリングを行う。 リオデジャネイロ大会の選手村では、世界各国の料理が用意された食堂があり、いつでも各国の食事を食べることができるようになっていた。また、部屋には浴室がなかったため、エアプールを用意して浴槽に入った。また、各国の文化を紹介するゾーンもあり、日本のブースでは雛人形があった。

	オリンピックの価値は、リスペクト、フレンドシップ、エクセレンスの三つで構成されている。 オリンピックに出場したことのない自分がコーチとして指導できるか不安だったが、指導をした土性選手が金メダルを獲得できて、選手とともに喜んだ。 みんなも、「最後まで諦めない気持ち」と「周りの人への感謝の気持ち」を忘れないでほしい。
6 主な成果	講演内容からみた成果 普段接することの少ないレスリングについて知ることができた 諦めない気持ちと感謝の気持ちが大切であることを学んだ
7実践において工夫した点 (事業の特色)	講演と講演の間で、動く時間を設けることで、子どもたちがなじみのないレスリングでも、とても興味を持ち、楽しく実施することができた。
8主な課題等	地域を巻き込んだ事業を展開していきたい。
9来年度以降の実施予定	実施予定